

銭湯でリモートワーク



フィットネス設備やサウナが自由に使える楽の湯のワーキングスペース。いずれも岡崎市庄司田一の楽の湯おかざきで

岡崎市庄司田一のスーパー銭湯「楽の湯おかざき」が七月二十七日から、銭湯の設備を利用してリラククスしながらリモートワーク（社外勤務）ができる「こころ所ワーケーションプラン」の提供を始めた。（鎌田旭昇）

楽の湯おかざき コロナ拡大受け新サービス

ワーケーションは英語の「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、導入が広がったリモートワーク。在宅で仕事する環境が整っていない人たちの需要を取り込む狙い。

楽の湯では、電源や照明器具を置いた四人分のワーキングスペースを準備した。仕事の合間や気分転換したい時に、自由に露天風呂やサウナ、フィットネス設備、休憩室を利用できる。約一万冊の漫画や雑誌なども置いている。

店長の平山貴英さん（53）は普段から名古屋市内の自宅近くのスーパー銭湯で仕事をすることがあるという。「集中できて、時間が早く過ぎるように感じる」といい、今回のプランを考えた。仕事前に朝風呂したり、昼食後に運動して目を覚ましたり、さまざまに過ごし方ができる。

楽の湯おかざきは四、五月に休業した。再開後も客



リモートワークする人向けにワーキングスペースを整えた楽の湯

2020年 8月1日(土)

中日新聞朝刊

新聞に掲載
されました。

おかざき楽の湯の設備を利用した、
リラククスしながらの

リモートワークプラン